

- 問1 後醍醐天皇が行った政治体制が決裂したことを指す言葉は何？
- 問2 中世において、寺社の門前や交通の要所に、決まった日にちや回数で開かれる商業活動の場を何といいますか？
- 問3 後醍醐天皇による天皇親政が始まるきっかけとなった、1333年に滅亡した武家政権は何か？
- 問4 観阿弥とともに能を大成させ、能楽の基礎を築いた人物は誰？
- 問5 室町幕府が、明との貿易船を正式なものと証明するために使用した札を何という？
- 問6 建武の新政が行われていた期間の混乱ぶりを風刺し、当時の社会状況を伝えるために作られた落書を何という？
- 問7 室町時代、東山文化を代表する建築物である銀閣（慈照寺）を建てた、室町幕府の8代将軍は誰？
- 問8 室町幕府において、将軍を補佐する最高の役職であった守護大名の地位を何という？
- 問9 15世紀後半、細川氏と山名氏が対立し、将軍の跡継ぎ問題などが絡んで京都で起こった大規模な内乱を何という？
- 問10 下の身分の者が、上の身分を力で倒して地位を奪う、室町時代の社会風潮を何という？
- 問11 二条河原の落書など、中世の日本の文芸や歌で好まれた「七・五・七・五」を基調とするリズムを何といいますか？
- 問12 明に渡って絵画を学び、独自の力強い水墨画を大成させた画僧は誰？
- 問13 慈照寺銀閣の東求堂同仁斎に見られる、畳や床の間などを備えた現代の原型となる部屋を何という？
- 問14 東山文化を代表する建築物で、足利義政が京都に建てたものは何？
- 問15 琉球王国が中継貿易を行う上で、最も重要な窓口となっていた当時のアジアの大国を何という？
- 問16 室町時代に浄土真宗の門徒が守護大名を倒し、約100年間にわたって自治を行った場所はどこ？
- 問17 現在の石川県である加賀国で、浄土真宗の門徒らが守護大名を倒した一揆が起こったのは何年ですか？
- 問18 鎌倉時代に浄土真宗を開き、後に室町時代に蓮如によって民衆へ広く広められた人物は誰？
- 問19 浦島伝説が収められている、奈良時代に編集された日本最古の歌集を何という？
- 問20 堺の町で、有力な商人たちが組織した合議制の運営組織のことを何という？
- 問21 首里に築かれ、琉球王国の政治・外交・文化の中心として栄えた拠点を何といいますか？

答え合わせ・解説

問1	答え 建武の新政	建武の新政では、公家を重んじ武士を軽視する政策が行われました。その結果、土地を失うことへの不安や恩賞への不満を抱いた武士たちの支持を失いました。混乱の中で足利尊氏が離反し、新たな政権へと移行することになりました。
問2	答え 定期市	寺社はその権威と安全性を背景に、参拝者が集まる門前や街道の要所に定期市を開かせました。決まった日に開かれるこの市は、農村や都市の人々が物資を交換する場となり、経済の中心地として発展しました。
問3	答え 鎌倉幕府	鎌倉幕府は、北条氏が実権を握り、武士による裁判や土地支配を行う仕組みを整えていました。しかし、1333年に足利尊氏や新田義貞の活躍によって滅亡しました。これにより約150年続いた武士による支配体制が一時的に崩れることとなりました。
問4	答え 世阿弥	世阿弥は、父である観阿弥の才能を受け継ぎ、室町幕府の将軍足利義満に認められました。彼は能の理論を記した『風姿花伝』を著すとともに、多くの優れた脚本を書き上げ、能を大衆的な芸能から芸術性の高い舞台芸能へと完成させました。
問5	答え 勘合	「勘合」は、日本と明がそれぞれ発行する二枚一組の符札です。これを照らし合わせることで貿易船の身分を証明しました。この札を持つ船だけが貿易を認められたため、この貿易を「勘合貿易」と呼びます。
問6	答え 二条河原の落書	二条河原の落書は、当時の世の中の様子や政治の混乱を風刺した文章です。二条河原（現在の京都市内）の壁などに書かれたとされており、当時の庶民や武士が感じていた政府への不信感が鋭い言葉で表現されています。
問7	答え 足利義政	足利義政は、政治への関心を失う一方で、禅宗の思想の影響を受けた「わび・さび」という独特の美的感覚を深めました。自らの山荘として慈照寺（銀閣）を建て、そこを拠点に東山文化を花開かせました。
問8	答え 管領	管領（かんれい）は、幕府の最高責任者として将軍を補佐する役職です。スズ・ホソカワ・ハタケヤマの三つの家（三管領）が交代で就任する慣例がありました。彼らは幕府の重要な政策決定に携わり、将軍と協力して政治を動かしました。
問9	答え 応仁の乱	応仁の乱は1467年に始まり、約11年間にわたって京都を舞台に繰り広げられた戦いです。この戦いにより、京都の町は荒廃し、幕府の権威は地に落ちました。守護大名が領国を留守にしていたため、各地で下剋上の風潮が強まりました。
問10	答え 実力	かつての伝統的な秩序や家柄が重んじられる時代から、個人の能力や武力が重要視される時代へと変化しました。これが「実力」主義的な社会風潮である下剋上の本質です。
問11	答え 七五調	二条河原の落書は、当時の世相に対する痛烈な批判を、当時の人々にとって馴染み深く覚えやすい「七五調」のリズムで表現しました。これにより、多くの人々に内容が伝わり、政治的な批判が庶民の間にまで浸透しました。
問12	答え 雪舟	雪舟は日本の禅僧でありながら、遣明船に乗って中国へ渡り、本場の絵画技術を学びました。帰国後、彼は風景を大胆な構図で表現する日本独自の水墨画を確立し、数多くの傑作を残しました。「四季山水図巻」などが代表作として知られています。
問13	答え 和室	室町時代に発達した書院造は、床の間や違い棚、障子、襖、そして部屋全体に敷き詰められた畳が特徴です。これが慈照寺銀閣の同仁齋という部屋に結実し、後の住宅様式の基本となりました。
問14	答え 慈照寺銀閣	慈照寺銀閣は、北山文化の華やかな金閣とは対照的に、簡素で落ち着いた美しさが特徴です。この建物には、畳や床の間、障子などを備えた書院造という新しい部屋の様式が取り入れられました。
問15	答え 中国	琉球王国は明の皇帝から認められることで、東南アジア諸国との貿易を自由に行うことができました。中国から手に入れた陶磁器や絹織物などを、日本や東南アジアへ運ぶことで、東アジアにおける物流の要所としての役割を果たしました。この貿易ルートのおかげで、琉球王国は短期間で急激な経済発展を遂げることができました。
問16	答え 加賀国	加賀国では、蓮如の布教によって浄土真宗が深く浸透しました。門徒たちは結託して守護大名を追放し、その後約100年間にわたり、「百姓の持ちたる国」と呼ばれるほど、民衆自身による自治を実現しました。
問17	答え 1488年	1488年、本願寺の教えによって強く結びついていた門徒らは、加賀の守護であった富樫氏に対して大規模な一揆を起こしました。これにより守護を追放し、武士の支配から脱却しました。
問18	答え 親鸞	親鸞は、阿弥陀仏の救いを信じて念仏を唱えるだけで救われるとする浄土真宗を説きました。また、僧侶の妻帯や肉食を認めるなど、当時の常識を打ち破る教えが特徴です。
問19	答え 万葉集	万葉集は、天皇や貴族だけでなく、防人や名もなき人々が詠んだ歌を約4500首も集めた巨大な歌集です。その中には浦島太郎の原型となる物語が含まれており、後世の文学や絵入りの物語に多大な影響を与えました。
問20	答え 会合衆	会合衆は、堺の有力者による合議組織です。彼らは町を運営するための相談役や意思決定者として活動し、堀をめぐらせるなどの防衛策を講じたり、町独自の法を運用したりしました。この組織により、堺は「日本で最も自由な都市」としての地位を確立しました。
問21	答え 首里城	首里城は琉球王国の王宮として建設され、政治、外交、文化の中心となりました。城のデザインには中国や日本の建築様式の影響が見られ、琉球独自の美学と融合した独特な構造をしています。

- 問1 室町幕府が関東地方を支配するために設置した、室町幕府の地方統治機関の設置者は誰？
- 問2 足利尊氏が京都に開き、武士による統治体制を確立した新しい政府を何という？
- 問3 世阿弥が追求した、能の基礎となる芸術的な美しさを何という？
- 問4 足利義政の後継者争いから京都で勃発した、大規模な内乱は何年？
- 問5 堺の町で、有力な商人たちが組織した合議制の運営組織のことを何という？
- 問6 二条河原の落書など、中世の日本の文芸や歌で好まれた「七・五・七・五」を基調とするリズムを何といいますか？
- 問7 室町時代に質屋を営み、酒屋とともに金融業として富を蓄えたのは何？
- 問8 1428年に正長の土一揆が初めて発生した場所はどこですか？
- 問9 室町時代の定期市において、広く流通していた中国から輸入された銅銭を何という？
- 問10 15世紀に統一され、中継貿易で大きく繁栄した島はどこ？
- 問11 建武の新政が行われていた期間の混乱ぶりを風刺し、当時の社会状況を伝えるために作られた落書きを何という？
- 問12 吉野が南朝の拠点となった理由として、京都の勢力から身を守るためにどのような地形環境が重要であった？
- 問13 後醍醐天皇が行った政治体制が決裂したことを指す言葉は何？
- 問14 室町幕府が、明との貿易船を正式なものと証明するために使用した札を何という？
- 問15 室町時代、細川氏が実権を握り、明との間で行われた貿易を何という？
- 問16 堺などのような、海上輸送の拠点として栄え、商人が集まる町のことを一般的に何という？
- 問17 足利義満の時代に、公家文化と武家文化が融合して生まれた文化を何という？
- 問18 琉球王国が日本、中国、東南アジア諸国を仲介して行った、輸出入を通じた経済活動を何といいますか？
- 問19 室町時代の中期、京都の東山に山荘を建てて文化を奨励した第8代将軍は誰？
- 問20 慈照寺銀閣の東求堂同仁齋に見られる、畳や床の間などを備えた現代の原型となる部屋を何という？
- 問21 室町時代、堺や博多などが大きく発展するきっかけとなった、明との間で行われた貿易を何という？
- 問22 東求堂同仁齋に見られる、畳や床の間、棚などを備えた日本の住宅建築の様式を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 足利尊氏	尊氏は、鎌倉幕府の伝統があった関東地方を安定して統治するため、自身の子供や一族を派遣して「鎌倉府」を置きました。これは、京都の幕府とは別に、東国の軍事や行政をまとめる重要な組織として機能しました。
問2	答え 室町幕府	尊氏は京都に拠点置き、自らを征夷大將軍として「室町幕府」を開きました。幕府は將軍の補佐役である管領や、地方を統治するための鎌倉府などの組織を整え、武士による新たな支配体制を築き上げました。
問3	答え 幽玄	「幽玄」とは、単に美しいだけでなく、言葉では言い表せないほど深みのある美しさや、静寂の中にただよう気品を指す言葉です。世阿弥は、単なる娯楽だった猿楽を、この「幽玄」を追求することで、高尚な舞台芸術へと高めました。
問4	答え 1467	この年（1467年）に、京都を舞台として守護大名同士の激しい武力衝突が始まりました。これにより京都の町は荒廃し、幕府の統治能力は著しく低下しました。幕府の権威を揺るがす大きな出来事となり、日本全国の武士たちを巻き込む戦乱へと発展しました。
問5	答え 会合衆	会合衆は、堺の有力者による合議組織です。彼らは町を運営するための相談役や意思決定者として活動し、堀をめぐらせるなどの防衛策を講じたり、町独自の法を運用したりしました。この組織により、堺は「日本で最も自由な都市」としての地位を確立しました。
問6	答え 七五調	二条河原の落書は、当時の世相に対する痛烈な批判を、当時の人々にとって馴染み深く覚えやすい「七五調」のリズムで表現しました。これにより、多くの人々に内容が伝わり、政治的な批判が庶民の間にまで浸透しました。
問7	答え 土倉	「土倉（どそう）」は、もともと商品を保管する倉庫を指していましたが、預かった商品を担保にして金を貸す質屋のような役割を持つようになりました。酒屋とともに幕府から営業の認可を得る代わりに税を納めることで、幕府の重要な財源となりました。
問8	答え 近江国	1428年に近江国（現在の滋賀県）の馬借らが蜂起したのが正長の土一揆の始まりです。馬借とは馬を使って荷物を運ぶ運送業者で、この時代の流通において重要な役割を果たしていました。彼らが酒屋や土倉を襲撃し、借金の破棄を求めた動きは瞬く間に近畿地方全体へと広がりました。
問9	答え 宋銭	宋から輸入された「宋銭」や、後の明から輸入された「明銭」が流通し、人々の生活に浸透しました。これにより、年貢も米だけでなく銭で納められることが増え、商品経済が飛躍的に活性化しました。
問10	答え 沖縄本島	沖縄本島を中心とする琉球王国は、中国、日本、東南アジアの間に位置する地理的条件を活かしました。それぞれの国から仕入れた品物を他の国へ運ぶ「中継貿易」を行い、東アジアにおける物流のハブとして莫大な利益を上げました。この貿易を通じて、日本文化や中国文化も影響を受けました。
問11	答え 二条河原の落書	二条河原の落書は、当時の世の中の様子や政治の混乱を風刺した文章です。二条河原（現在の京都市内）の壁などに書かれたとされており、当時の庶民や武士が感じていた政府への不信感が鋭い言葉で表現されています。
問12	答え 峻険な山々	吉野は奈良の奥地に位置し、非常に険しい山々に囲まれています。この地形は、大規模な軍勢による攻撃を困難にしました。そのため、南朝は少ない兵力でも長期的に拠点を維持することが可能となりました。
問13	答え 建武の新政	建武の新政では、公家を重んじ武士を軽視する政策が行われました。その結果、土地を失うことへの不安や恩賞への不満を抱いた武士たちの支持を失いました。混乱の中で足利尊氏が離反し、新たな政権へと移行することになりました。
問14	答え 勘合	「勘合」は、日本と明がそれぞれ発行する二枚一組の符札です。これを照らし合わせることで貿易船の身分を証明しました。この札を持つ船だけが貿易を認められたため、この貿易を「勘合貿易」と呼びます。
問15	答え 勘合貿易	足利義満が開始した勘合貿易は、明の皇帝が発行した証明書である「勘合」を所持した船のみが貿易を許可される仕組みです。これにより倭寇と区別され、円滑で利益の大きい貿易が可能となりました。細川氏や大内氏といった有力な守護大名がこの貿易の実権を争い、大きな利益を得ました。
問16	答え 港町	港町は、船による海上輸送の拠点として、国内外の物資が荷揚げされる場です。堺は大阪湾の港町として、国内外との交易を通じて発展しました。そこには商人たちが店を構え、倉庫を建て、金融業も発達しました。
問17	答え 北山文化	北山文化の特色は、伝統的な公家文化の優雅さと、力強い武家文化が融合している点にあります。この時期には金閣に代表されるような建築のほか、禅宗の影響を受けた芸術や学問が発展しました。
問18	答え 中継貿易	中国、日本、朝鮮、東南アジア諸国を自国の船で結び、それぞれの国の特産品を運ぶ貿易を行いました。例えば、日本の銀や工芸品を中国へ運び、中国の絹織物や陶磁器を東南アジアへ運ぶといった具合に、仲介によって大きな利益を得ました。
問19	答え 足利義政	足利義政は京都の東山に山荘（現在の慈照寺）を建て、そこを拠点に水墨画、茶の湯、華道などを愛好しました。この時期に醸成された文化は、簡素で気品のある「わび・さび」の精神を重んじる東山文化として完成されました。
問20	答え 和室	室町時代に発達した書院造は、床の間や違い棚、障子、襖、そして部屋全体に敷き詰められた畳が特徴です。これが慈照寺銀閣の同仁齋という部屋に結実し、後の住宅様式の基本となりました。
問21	答え 日明貿易	日明貿易は、当時の日本にとって中国の文物を輸入する重要な手段でした。明側からは銅銭（永楽通宝など）や絹織物、書物などが輸入され、日本からは金、銀、工芸品などが輸出されました。この利益によって堺や博多の都市が繁栄し、経済的に自立する大きな原動力となりました。
問22	答え 書院造	書院造は、畳を部屋全体に敷き詰め、床の間や棚、障子、襖などを配置した建築様式です。特に、部屋の中に「書院」と呼ばれる机の役割を果たす出窓が設けられたのが最大の特徴です。足利義政の東求堂同仁齋は、この様式を伝える貴重な遺構として知られています。

- 問1 室町時代に信仰を基盤として団結した民衆が、領主に抵抗して起こした武装蜂起を何と
いうか？
- 問2 琉球王国が都を置き、東アジア諸国を結ぶ海上交通の要衝として栄えた地はどこで
すか？
- 問3 室町時代中期、将軍の継承問題などをめぐって起こり、下剋上の風潮が広まるきっかけ
となった出来事は？
- 問4 室町時代、大規模な内乱の最中に建立され、その後の日本文化の礎となった建物を何と
いう？
- 問5 室町時代、3代将軍足利義満が京都の北山に建てた、北山文化を代表する建築物を何と
いう？
- 問6 後醍醐天皇が行った政治体制が決裂したことを指す言葉は何？
- 問7 床の間や付け書院などの特徴を持つ、後の日本建築の基礎となった様式を何という？
- 問8 勘合貿易が始まるきっかけにもなった、当時朝鮮半島や中国沿岸を荒らしていた海賊集
団のことを何という？
- 問9 吉野が南朝の拠点となった理由として、京都の勢力から身を守るためにどのような地形
環境が重要であった？
- 問10 琉球王国が日本、中国、東南アジア諸国を仲介して行った、輸出入を通じた経済活動を
何といいますか？
- 問11 鎌倉幕府が滅亡した後、天皇中心の政治を再び行おうとして失敗した人物は誰？
- 問12 中世において、寺社の門前や交通の要所に、決まった日にちや回数で開かれる商業活動
の場を何といいますか？
- 問13 室町時代に、幕府から地方の軍事・行政権を与えられ、領地を支配した地方官を何とい
う？
- 問14 15世紀に中継貿易で栄えた東アジアの王国を何という？
- 問15 琉球王国が、貿易の拠点として整備した都は現在のどこにあたるか？
- 問16 足利義満の時代に、公家文化と武家文化が融合して生まれた文化を何という？
- 問17 室町幕府の第3代将軍であり、京都の北山に金閣を建てた人物は誰？
- 問18 室町時代に、幕府が許可を与えた商船が中国の明と行った貿易を何という？
- 問19 室町時代、琵琶湖の水運と連携し、大津や坂本などの港から京都へ物資を陸上輸送して
いた運送業者を何という？
- 問20 室町時代、東山文化を代表する建築物である銀閣（慈照寺）を建てた、室町幕府の8代
将軍は誰？
- 問21 足利尊氏が鎌倉幕府を倒したあとに離反し、吉野に逃れて対立した天皇は誰？

答え合わせ・解説

問1	答え 浄土真宗	浄土真宗は「悪人正機」の教えを掲げ、身分に関係なく救われることを説いたため、農民や商人たちに深く浸透しました。共通の信仰で結ばれた門徒たちは、寺院を中心に強固な団結力を持ちました。この団結が、守護大名に対抗する際の大きな力となり、各地で武装蜂起を起こす原動力となりました。
問2	答え 首里	首里は琉球王国の政治・経済・文化の中心地として整備され、首里城が築られました。日本、中国、東南アジアを結ぶ中継貿易の拠点として、非常に重要な港である那覇とも近い立地です。
問3	答え 応仁の乱	8代将軍足利義政の後継者争いに、有力な大名家である細川氏と山名氏の対立が絡み、京都を中心に約11年間も続いた大乱です。京都は灰燼に帰し、幕府の権威は地に落ちました。
問4	答え 応仁の乱	1467年に始まったこの戦いは、全国の守護大名が東軍・西軍に分かれて戦ったため、日本全土に広がりました。これにより、室町幕府の権威は地に落ち、京都の街は焼け野原となりました。
問5	答え 鹿苑寺金閣	鹿苑寺金閣は、この北山山荘の中核として建てられた舍利殿です。2層と3層に金箔が貼られており、池に映る姿は室町文化の豪華さを象徴しています。
問6	答え 建武の新政	建武の新政では、公家を重んじ武士を軽視する政策が行われました。その結果、土地を失うことへの不安や恩賞への不満を抱いた武士たちの支持を失いました。混乱の中で足利尊氏が離反し、新たな政権へと移行することになりました。
問7	答え 書院造	書院造は、床の間、違い棚、付け書院といった装飾的かつ機能的な要素が備わっているのが最大の特徴です。畳を部屋全体に敷き詰めることが一般的となり、武家だけでなく後に公家や寺院にも取り入れられました。これにより、現在私たちが生活する「和室」の空間デザインが完成しました。
問8	答え 倭寇	倭寇は朝鮮半島や中国沿岸の都市を襲撃し、略奪や密貿易を行っていました。被害に悩まされた明は、日本側にこれらを取り締まるよう要求しました。その結果、室町幕府は正規の貿易船を証明する「勘合符」を発行し、正規の貿易船と海賊を区別することで貿易の安全を図りました。
問9	答え 峻険な山々	吉野は奈良の奥地に位置し、非常に険しい山々に囲まれています。この地形は、大規模な軍勢による攻撃を困難にしました。そのため、南朝は少ない兵力でも長期的に拠点を維持することが可能となりました。
問10	答え 中継貿易	中国、日本、朝鮮、東南アジア諸国を自国の船で結び、それぞれの国の特産品を運ぶ貿易を行いました。例えば、日本の銀や工芸品を中国へ運び、中国の絹織物や陶磁器を東南アジアへ運ぶといった具合に、仲介によって大きな利益を得ました。
問11	答え 後醍醐天皇	後醍醐天皇は足利尊氏や新田義貞らの協力を得て鎌倉幕府を滅ぼしました。その後、天皇が権力を集中させる「建武の新政」を開始しましたが、武士の利益を無視した政策が多く、武士たちの反発を招きました。
問12	答え 定期市	寺社はその権威と安全性を背景に、参拝者が集まる門前や街道の要所に定期市を開かせました。決まった日に開かれるこの市は、農村や都市の人々が物資を交換する場となり、経済の中心地として発展しました。
問13	答え 守護	守護は幕府に任命された地方の支配者で、軍事と警察権だけでなく、徴税権も認められるようになりました。これにより、守護は領地を支配する「守護大名」へと成長し、地域をより強力に統治するようになりました。
問14	答え 琉球王国	琉球王国は、中国（明）、日本、東南アジアの国々を繋ぐ「中継貿易」で莫大な利益を得ました。この貿易によって得た富により、独自の華やかな文化を築き上げました。万国津梁の鐘には、世界の架け橋となるという琉球の誇りが刻まれています。
問15	答え 首里	首里は琉球王国の王都として整備され、首里城が置かれました。ここを拠点に琉球は明や東南アジア諸国との間で中継貿易を行い、各国の特産品を集めて再分配することで大きな利益を得ました。首里はまさに王国の政治・外交の中心地であり、交易により発展した高度な文化が根付く街でした。
問16	答え 北山文化	北山文化の特色は、伝統的な公家文化の優雅さと、力強い武家文化が融合している点にあります。この時期には金閣に代表されるような建築のほか、禅宗の影響を受けた芸術や学問が発展しました。
問17	答え 足利義満	義満は京都の北山に別荘として北山殿を造営し、その象徴として金閣を建てました。金閣は伝統的な公家文化と新興の武家文化を融合させた豪華な建物です。この建築様式は、義満の時代の文化を象徴するものとなりました。
問18	答え 勘合貿易	足利義満が明の皇帝と交渉し、正式な貿易が始まりました。日本側は証明書である「勘合」を持つ船のみが貿易を許可され、日本からは刀剣や工芸品が、明からは生糸や「永楽通宝」などの銅銭が輸入されました。
問19	答え 馬借	馬借（ばしゃく）は、馬の背に荷物を載せて運送を行う業者です。琵琶湖などの水運と組み合わせ、港から京都へ物資を運ぶ重要な役割を果たしました。当時の物流の主役の一つであり、運送を通じて経済的に大きな影響力を持つようになりました。
問20	答え 足利義政	足利義政は、政治への関心を失う一方で、禅宗の思想の影響を受けた「わび・さび」という独特の美的感覚を深めました。自らの山荘として慈照寺（銀閣）を建て、そこを拠点に東山文化を花開かせました。
問21	答え 後醍醐天皇	この武士たちの不満を受け、足利尊氏が後醍醐天皇に反旗を翻しました。尊氏は京都を制圧して新たな天皇を擁立し、後醍醐天皇は吉野へ逃れて「南朝」を開きました。これに対して京都の尊氏側を「北朝」と呼び、以後約60年にわたり両者が争う時代となりました。

問1 下の身分の者が、上の身分を力で倒して地位を奪う、室町時代の社会風潮を何という？

問2 琉球王国が、貿易の拠点として整備した都は現在のどこにあたるか？

問3 室町時代に、幕府が許可を与えた商船が中国の明と行った貿易を何という？

問4 浄土真宗の強い信仰で結びついた門徒たちが、室町時代に起こした武装蜂起のことを何という？

問5 京都の北朝と吉野の南朝の対立を終わらせ、南北朝を合体させた室町幕府の第3代将軍は誰？

問6 15世紀に統一され、中継貿易で大きく繁栄した島はどこ？

問7 室町時代の定期市において、広く流通していた中国から輸入された銅銭を何という？

問8 室町幕府が関東地方を支配するために設置した、室町幕府の地方統治機関の設置者は誰？

問9 東山文化を代表する建築物で、足利義政が京都に建てたものは何？

問10 勘合貿易が始まるきっかけにもなった、当時朝鮮半島や中国沿岸を荒らしていた海賊集団のことを何という？

問11 琉球王国が中継貿易を行う上で、最も重要な窓口となっていた当時のアジアの大国を何という？

問12 室町幕府の足利尊氏によって京都を追われ、吉野に南朝を開いた天皇は誰？

問13 下剋上の風潮の中で、守護大名が衰えた後に各地で登場した新しい支配者のことを何という？

問14 室町時代に浄土真宗の門徒が守護大名を倒し、約100年間にわたって自治を行った場所はどこ？

問15 室町時代に質屋を営み、酒屋とともに金融業として富を蓄えたのは何？

問16 建武の新政が行われていた期間の混乱ぶりを風刺し、当時の社会状況を伝えるために作られた落書きを何という？

問17 室町時代に中継貿易で日本や東南アジアと活発にやり取りをしていた国はどこ？

問18 室町幕府において、将軍を補佐するために置かれた幕府の重要役職を何という？

問19 京都の東山に慈照寺銀閣を建て、書院造を代表する遺構を残した室町幕府の将軍は誰？

問20 琉球王国が日本、中国、東南アジア諸国を仲介して行った、輸出入を通じた経済活動を何といいますか？

問21 足利尊氏が京都に開き、武士による統治体制を確立した新しい政府を何という？

問22 床の間や付け書院などの特徴を持つ、後の日本建築の基礎となった様式を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 実力	かつての伝統的な秩序や家柄が重んじられる時代から、個人の能力や武力が重要視される時代へと変化しました。これが「実力」主義的な社会風潮である下剋上の本質です。
問2	答え 首里	首里は琉球王国の王都として整備され、首里城が置かれました。ここを拠点に琉球は明や東南アジア諸国との間で中継貿易を行い、各国の特産物を集めて再分配することで大きな利益を得ました。首里はまさに王国の政治・外交の中心地であり、交易により発展した高度な文化が根付く街でした。
問3	答え 勘合貿易	足利義満が明の皇帝と交渉し、正式な貿易が始まりました。日本側は証明書である「勘合」を持つ船のみが貿易を許可され、日本からは刀剣や工芸品が、明からは生糸や「永楽通宝」などの銅銭が輸入されました。
問4	答え 一向一揆	一向一揆は、浄土真宗の門徒が団結して守護大名や他の宗派と戦った武装蜂起です。各地で発生し、時には地域全体の支配権を握るほどの強い勢力を誇りました。
問5	答え 足利義満	室町幕府の第3代将軍である足利義満は、力のある守護大名を抑え込むと同時に、1392年に南朝の天皇から北朝の天皇へ位を譲らせる形で南北朝を合体（統一）させました。
問6	答え 沖縄本島	沖縄本島を中心とする琉球王国は、中国、日本、東南アジアの間に位置する地理的条件を活かしました。それぞれの国から仕入れた品物を他の国へ運ぶ「中継貿易」を行い、東アジアにおける物流のハブとして莫大な利益を上げました。この貿易を通じて、日本文化や中国文化も影響を受けました。
問7	答え 宋銭	宋から輸入された「宋銭」や、後の明から輸入された「明銭」が流通し、人々の生活に浸透しました。これにより、年貢も米だけでなく銭で納められることが増え、商品経済が飛躍的に活性化しました。
問8	答え 足利尊氏	尊氏は、鎌倉幕府の伝統があった関東地方を安定して統治するため、自身の子供や一族を派遣して「鎌倉府」を置きました。これは、京都の幕府とは別に、東国の軍事や行政をまとめる重要な組織として機能しました。
問9	答え 慈照寺銀閣	慈照寺銀閣は、北山文化の華やかな金閣とは対照的に、簡素で落ち着いた美しさが特徴です。この建物には、畳や床の間、障子などを備えた書院造という新しい部屋の様式が取り入れられました。
問10	答え 倭寇	倭寇は朝鮮半島や中国沿岸の都市を襲撃し、略奪や密貿易を行っていました。被害に悩まされた明は、日本側にこれらを取り締まるよう要求しました。その結果、室町幕府は正規の貿易船を証明する「勘合符」を発行し、正規の貿易船と海賊を区別することで貿易の安全を図りました。
問11	答え 中国	琉球王国は明の皇帝から認められることで、東南アジア諸国との貿易を自由に行うことができました。中国から手に入れた陶磁器や絹織物などを、日本や東南アジアへ運ぶことで、東アジアにおける物流の要所としての役割を果たしました。この貿易ルートのおかげで、琉球王国は短期間で急激な経済発展を遂げることができました。
問12	答え 後醍醐天皇	武士の支持を失った後醍醐天皇は、足利尊氏と対立して京都を追われました。尊氏が京都に別の天皇を立てると、自らは奈良の吉野へ逃れ、そこで南朝を開きました。これ以降、京都の北朝と吉野の南朝が並立する動乱の時代が始まりました。
問13	答え 戦国大名	戦国大名は、領民を直接掌握し、分国法を作るなどして独自の領地支配を行いました。彼らは城を拠点とし、軍事と行政を一体化させて、自分の領地を強く支配しようとしていました。
問14	答え 加賀国	加賀国では、蓮如の布教によって浄土真宗が深く浸透しました。門徒たちは結託して守護大名を追放し、その後約100年間にわたり、「百姓の持ちたる国」と呼ばれるほど、民衆自身による自治を実現しました。
問15	答え 土倉	「土倉（どそう）」は、もともと商品を保管する倉庫を指していましたが、預かった商品を担保にして金を貸す質屋のような役割を持つようになりました。酒屋とともに幕府から営業の認可を得る代わりに税を納めることで、幕府の重要な財源となりました。
問16	答え 二条河原の落書	二条河原の落書は、当時の世の中の様子や政治の混乱を風刺した文章です。二条河原（現在の京都市内）の壁などに書かれたとされており、当時の庶民や武士が感じていた政府への不信感が鋭い言葉で表現されています。
問17	答え 中国	中国は当時、非常に進んだ産業や文化を持っており、日本を含む諸国から製品が求められました。琉球王国などは、この中国と日本、あるいは東南アジア諸国の間に立って仲介役を果たすことで、大きな経済的恩恵を受けました。この物流のつながりが、当時のアジアの経済圏を支えていました。
問18	答え 管領	「管領」は幕府の最高職であり、将軍に代わって政務を取り仕切る重要な役割を担いました。特に力のある有力な守護大名の家柄（斯波、細川、畠山氏など）から選ばれることが多く、幕政の実権を左右する大きな影響力を持っていました。
問19	答え 足利義政	義政は京都の東山に山荘として東山殿（のちの慈照寺、銀閣）を造営しました。その中の東求堂同仁斎という建物には、書院造の特徴である「床の間」や「違棚」が備わっており、後の日本建築に多大な影響を与えました。
問20	答え 中継貿易	中国、日本、朝鮮、東南アジア諸国を自国の船で結び、それぞれの国の特産品を運ぶ貿易を行いました。例えば、日本の銀や工芸品を中国へ運び、中国の絹織物や陶磁器を東南アジアへ運ぶといった具合に、仲介によって大きな利益を得ました。
問21	答え 室町幕府	尊氏は京都に拠点を置き、自らを征夷大将軍として「室町幕府」を開きました。幕府は将軍の補佐役である管領や、地方を統治するための鎌倉府などの組織を整え、武士による新たな支配体制を築き上げました。
問22	答え 書院造	書院造は、床の間、違い棚、付け書院といった装飾的かつ機能的な要素が備わっているのが最大の特徴です。畳を部屋全体に敷き詰めることが一般的となり、武家だけでなく後に公家や寺院にも取り入れられました。これにより、現在私たちが生活する「和室」の空間デザインが完成しました。

- 問1 建武の新政が行われていた期間の混乱ぶりを風刺し、当時の社会状況を伝えるために作られた落書きを何という？
- 問2 室町時代に町衆が主体となって祭礼が運営された、京都にある神社を何という？
- 問3 後醍醐天皇が行った政治体制が決裂したことを指す言葉は何？
- 問4 足利義政の後継者争いから京都で勃発した、大規模な内乱は何年？
- 問5 応仁の乱の後、実力のある者が上の立場の者を倒して勢力を広げた、戦国時代の風潮を何という？
- 問6 15世紀に沖縄本島を統一し、琉球王国を建国した人物は誰ですか？
- 問7 世阿弥が追求した、能の基礎となる芸術的な美しさを何という？
- 問8 首里に築かれ、琉球王国の政治・外交・文化の中心として栄えた拠点を何といいますか？
- 問9 世阿弥とともに能楽を大成させた人物であり、世阿弥の父でもあるのは誰？
- 問10 応仁の乱以降、農民や武士が団結して守護大名を倒し、自分たちで地域を治めた動きの一つを何という？
- 問11 室町時代に浄土真宗の門徒が守護大名を倒し、約100年間にわたって自治を行った場所はどこ？
- 問12 足利尊氏が京都に開き、武士による統治体制を確立した新しい政府を何という？
- 問13 室町時代に歌舞劇である能を芸術的に高め、大成させた、室町幕府の第3代将軍は誰か？
- 問14 室町時代、農民たちが「寄合」を通じて村の運営を独自に行うようになった村の組織を何というか？
- 問15 浄土真宗の信仰で結びついた武士や農民が、加賀国で倒した守護大名は誰ですか？
- 問16 祇園祭が室町時代に一時中断する原因となった、京都を主戦場とした大規模な内乱を何という？
- 問17 浄土真宗の強い信仰で結びついた門徒たちが、室町時代に起こした武装蜂起のことを何という？
- 問18 室町時代中期、将軍の継承問題などをめぐって起こり、下剋上の風潮が広まるきっかけとなった出来事は？
- 問19 室町幕府において、将軍を補佐する最高の役職であった守護大名の地位を何という？
- 問20 室町時代、大規模な内乱の最中に建立され、その後の日本文化の礎となった建物を何という？
- 問21 室町時代の定期市において、広く流通していた中国から輸入された銅銭を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 二条河原の落書	二条河原の落書は、当時の世の中の様子や政治の混乱を風刺した文章です。二条河原（現在の京都市内）の壁などに書かれたとされており、当時の庶民や武士が感じていた政府への不信感が鋭い言葉で表現されています。
問2	答え 八坂神社	八坂神社で行われる祇園祭は、室町時代の京都において、有力な商工業者である「町衆」が中心となって運営されました。町衆は自分たちの住む街を守り、団結力を誇示するために豪華な山鉾を造り、祭りを盛り上げました。これは都市自治の象徴でもありました。
問3	答え 建武の新政	建武の新政では、公家を重んじ武士を軽視する政策が行われました。その結果、土地を失うことへの不安や恩賞への不満を抱いた武士たちの支持を失いました。混乱の中で足利尊氏が離反し、新たな政権へと移行することになりました。
問4	答え 1467	この年（1467年）に、京都を舞台として守護大名同士の激しい武力衝突が始まりました。これにより京都の町は荒廃し、幕府の統治能力は著しく低下しました。幕府の権威を揺るがす大きな出来事となり、日本全国の武士たちを巻き込む戦乱へと発展しました。
問5	答え 下剋上	「下剋上」とは、下位の者が上位の者を実力で倒して支配権を奪う、戦国時代特有の世の中の秩序を指します。守護大名が家臣や国人に実権を奪われる事態が各地で相次ぎました。
問6	答え 尚巴志	中山の王であった尚巴志は、優れた軍事力と外交手腕を駆使し、1429年に沖縄本島を統一して琉球王国を建国しました。首里を王都と定め、後の琉球王朝の基礎を築きました。
問7	答え 幽玄	「幽玄」とは、単に美しいだけでなく、言葉では言い表せないほど深みのある美しさや、静寂の中にただよう気品を指す言葉です。世阿弥は、単なる娯楽だった猿楽を、この「幽玄」を追求することで、高尚な舞台芸術へと高めました。
問8	答え 首里城	首里城は琉球王国の王宮として建設され、政治、外交、文化の中心となりました。城のデザインには中国や日本の建築様式の影響が見られ、琉球独自の美学と融合した独特な構造をしています。
問9	答え 観阿弥	観阿弥は、独自の工夫を加えて演劇性を高め、息子である世阿弥とともに「能楽」という日本の伝統芸能を大成させました。特に観阿弥の躍動感ある芸風は、義満の絶大な支持を受け、能が武家社会の教養として定着するきっかけとなりました。
問10	答え 一向一揆	一向一揆は、浄土真宗の強い信仰で結ばれた民衆が指導者のもとに組織的に戦ったものです。彼らは守護大名を追放し、加賀国のように長期間にわたり自分たちの支配を確立する地域もありました。
問11	答え 加賀国	加賀国では、蓮如の布教によって浄土真宗が深く浸透しました。門徒たちは結託して守護大名を追放し、その後約100年間にわたり、「百姓の持ちたる国」と呼ばれるほど、民衆自身による自治を実現しました。
問12	答え 室町幕府	尊氏は京都に拠点置き、自らを征夷大将軍として「室町幕府」を開きました。幕府は將軍の補佐役である管領や、地方を統治するための鎌倉府などの組織を整え、武士による新たな支配体制を築き上げました。
問13	答え 足利義満	義満は、観阿弥・世阿弥の父子による猿楽（能）の才能を高く評価し、強力な後援者となりました。これにより、能は庶民の芸能から武家社会でも愛される芸術性の高い芸能へと進化しました。また、彼は金閣を建てるなど北山文化を築いたことでも知られています。
問14	答え 惣村	惣村は、村人が共同で地主や守護大名に対抗するための組織でした。村人たちは「寄合」を開いて村のルールを決めたり、用水路の管理を行ったりしました。また、守護大名が過度な年貢を取りに来たときには、団結して抵抗する権利も持っていました。これにより、中世の村は高い自主性を持つようになりました。
問15	答え 富樫政親	当時の加賀国では、守護大名の富樫政親が教団の勢力を抑えようと対立を深めました。これに対し、1488年に門徒らが蜂起し、守護所を襲撃して政親を自害に追い込みました。
問16	答え 応仁の乱	約11年間にわたって京都の市街地が戦場となり、寺院や屋敷が焼き払われました。京都の街は壊滅的な被害を受けましたが、一方で幕府の権威は地に落ち、全国で下剋上の風潮が強まることとなりました。
問17	答え 一向一揆	一向一揆は、浄土真宗の門徒が団結して守護大名や他の宗派と戦った武装蜂起です。各地で発生し、時には地域全体の支配権を握るほどの強い勢力を誇りました。
問18	答え 応仁の乱	8代將軍足利義政の後継者争いに、有力な大名家である細川氏と山名氏の対立が絡み、京都を中心に約11年間も続いた大乱です。京都は灰燼に帰し、幕府の権威は地に落ちました。
問19	答え 管領	管領（かんれい）は、幕府の最高責任者として將軍を補佐する役職です。スズ・ホソカワ・ハタケヤマの三つの家（三管領）が交代で就任する慣例がありました。彼らは幕府の重要な政策決定に携わり、將軍と協力して政治を動かしました。
問20	答え 応仁の乱	1467年に始まったこの戦いは、全国の守護大名が東軍・西軍に分かれて戦ったため、日本全土に広がりました。これにより、室町幕府の権威は地に落ち、京都の街は焼け野原となりました。
問21	答え 宋銭	宋から輸入された「宋銭」や、後の明から輸入された「明銭」が流通し、人々の生活に浸透しました。これにより、年貢も米だけでなく銭で納められることが増え、商品経済が飛躍的に活性化しました。